

大腸癌研究会プロジェクト
『若年者大腸癌の全国データベース構築と臨床病理学的特徴および
治療効果の検討』

第1回会議 議事録

2024年1月25日

浜松町コンベンションホール 「メインホールB」

■出席者（50音順、敬称略）

- 委員長 日本医科大学消化器外科：山田 岳史
- 事務局長 がん研有明病院消化器化学療法科 篠崎英司
- 出席者（50音順）：秋元直彦（事務局、日本医大）、石田秀行（埼玉医大）、江本成伸（東京大学）、尾地伸悟（京都大学）、賀川義視（大阪急性期）、吉敷智和（杏林大学）、齋藤麻里（大阪国際がんセンター）、坂本一博（順天堂）、島田能史（新潟大学）、杉本起一（順天堂）、須藤剛（山形県立中央病院）、高雄美里（都立駒込病院）、野島陽水（大阪大学）、廣川高久（刈谷豊田総合病院）、廣瀬裕一（防衛医大）、藤吉健司（久留米大学）、古屋信二（山梨大学）、宮沢善夫（土庫病院）、山井大介（新潟大学）、山口達郎（都立駒込）、山本聖一郎（東海大学）、

■会議内容

プロジェクト研究に関して

(1) 山田委員長から

若年者大腸癌に関する、臨床および分子病理学的な観点から現時点のエビデンスのまとめ、および大腸癌研究会としてプロジェクト研究を行う経緯に関してスライドを用いて発表があった。

(2) 篠崎事務局長から

若年者大腸癌に関する、主に疫学的な観点に関してまとめの発表があった。また、プロジェクト研究をおこなう上で、山田委員長とは別のアプローチによる研究方法に関してスライドを用いて発表があった。

(3) 今後の方針に関して

コアメンバーによる会議を経て、研究計画書の作成、および引き続き参加御施設を募り、プロトコルが作成され次第、日本医科大学の倫理委員会に提出する旨の案内があった。

また、研究会当日にプレゼンテーションを行った資料および配布資料は、参加いただく施設に後日配布する旨の連絡があった。

以上